首都圏もマスクは個人判断、医療・高齢者施設は着用推奨

#新型コロナ #埼玉 #東京

2023/3/13 19:38 [有料会員限定]

埼玉県議会の13日の委員会では大野元裕知事や県幹部、県議の多くがマスクを着けずに質疑に臨んだ

新型コロナウイルス対策として3年にわたり習慣化していたマスクの着用が13日から個人の判断に委ねられた。首都圏の自治体はおおむね国に沿って職員を含めて着用するかしないかは個々の意思を尊重するとの方針を示す。ただ、市区町村では窓口職員に引き続き着用を求める例もあり一部対応に濃淡がある。

13日に開かれた埼玉県議会の予算特別委員会では、大野元裕知事や県幹部、県議の大半がマスクをせずに出席した。質疑に臨んだ県議からは「今日からマスクを外しているが、どこか懐かしい感じがする。初めて素顔を見た方もいる」との声が上がった。

東京都の小池百合子知事は同日、マスクを着用せずに登庁した。記者団の取材に対し、「状況に応じて着けたり外したりすることになると思うので、ポケットにマスクを入れて臨機応変に着けてほしい」と話した。

小池都知事は13日、マスクなしで登庁した

国の方針に沿って首都圏の1都3県と山梨県でも13日からマスク着用は原則として個人の判断となり、「着用を強制することはない」（埼玉県の大野知事）。ただ、医療機関の受診時や重症化リスクの高い高齢者施設に面会で訪れる際のほか、混み合った公共交通機関で移動する場合などはマスク着用を推奨する。

神奈川県は医療機関や高齢者施設の来訪者に対して「いつもマスク着用」を引き続き求める。県は呼びかけの動画を県のホームページや動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開した。外部のデジタルサイネージ（電子看板）にも無料提供し、医療機関など30件の問い合わせがあったという。

マスクをせず記者会見に臨む黒岩・神奈川県知事（13日、神奈川県庁）

13日にマスクなしで記者会見した黒岩祐治知事は「重症化リスクの高い方がいる医療機関や高齢者施設ではマスクの徹底を」と協力を求めた。

千葉県の熊谷俊人知事はマスク着用緩和を「日常を取り戻すためのステップ」と指摘。手洗いや換気などの基本対策は引き続き重要としつつ、マスクは「本人の意思に反して着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるべきだ」と強調する。

市区町村では市民と接する窓口などで働く職員のマスク着用を巡ってやや対応が分かれる。東京都千代田区は区役所の窓口や住宅訪問などで区民と直接話す機会のある職員には引き続きマスク着用を求める。

千葉市は窓口対応の職員に、市民の希望があればマスクを着けるように指示した。埼玉県所沢市も高齢者とも接する窓口業務などで職員がマスクを着用する場合があるとする。企業でもイオンのように不特定多数の顧客と接する業種などでは従業員に引き続きマスクの着用を求める。